

フィンドレー大学への協定校留学 4月分報告書

留学先大学；フィンドレー大学

氏名；高橋光子

【はじめに】

ついに、約九か月間の留学生活が終了しました。長かったようで、今思えば一瞬でした。四月は、最終試験や最終プロジェクトの期間が主だったので、とても忙しかったです。今回は、最後の活動報告書となります。四月どのように過ごしたかについてお伝えします。

【イースターブレイク】

四月の初めは、四日間ほどのイースターブレイクがありました。私は友達と三人で、ナイアガラ滝とピッツバーグに行きました。私たちは、アメリカ側とカナダ側の両方からナイアガラ滝を見ました。運がよく、例年だと五月中旬からしか再開されないクルーズに乗ることができました。クルーズに乗って下から見るナイアガラ滝は絶景でした。もし、ナイアガラ滝に行く機会があれば、クルーズに乗ることをお勧めします。また、ナイアガラ滝は夜になるとライトアップされるので、朝と夜に二度楽しむことができるのも魅力の一つです。その後、ピッツバーグに行きました。ピッツバーグは観光地としてあまり知られていませんが、とても落ち着いた場所で、住みやすい街でした。



【イースター】

イースターブレイクは旅行をしていたので、本場のイースターを体験することができなかったのですが、日本語を専攻している二人のアメリカ人の友達が、日本人留学生のために、イースターパーティーを開いてくれました。卵に色を付けてデコレーションしたり、キャロットケーキを食べたり、エッグハントをしたりしました。イースターブレイクはアメリカでは、サンクスギビングやクリスマスと並ぶほど重要なイベントなので、基本的にアメリカ人学生は実家に帰ります。そのため、友達のおかげで、イースターを経験することができたことをとてもうれしく思います。

【International Nights】

世界各国の留学生が自分たちの国の料理を振る舞う International Nights というイベントがありました。ガーナ・ネパール・インド・バングラデシュなどの料理を食べました。そのイベントは、コロナ以前は外部からも人が来ることが可能な大きなイベント

だったそうですが、コロナの影響で食事の提供が止まって以降、小規模ながらも徐々に再開しているという状況です。今まで食べたことのない国の料理を食べることができたことはとてもいい経験でした。フィンドレー大学は特に田舎なので、アメリカ人の学生が他国から来た留学生と関わることに慣れていない傾向にありますが、このイベントを通して、少し異文化に興味を持ってくれた人もいたと思います。



【まとめ】

九か月間の留学生活は私が成長するために、とても役立ちました。自分が今まで経験したことない困難を乗り越えたり、様々な背景を持った人と関わることで新しい価値観を自分の中に構築することができたりしました。ホームシックになることはほぼありませんでしたが、留学生活は慣れないことの連続で、八割は困難、二割が楽しさといえると思います。ですが、不思議なことに、留学生活が終わってしまえば、楽しかった思い出でいっぱいです。この経験は、一生の財産になると思います。この留学をサポートしてくれた家族に感謝しています。